

いちのみの芸術文化

宮田村及び
近村養蠶
勸励略図

養蠶秘録

人小唄

蚕かじの女

賢あし

曉臺

■ 特集「尾州の養蚕と製糸」

■ エッセイ「生誕150年を迎えた島文楽

―そのヒストリーと活動の前途―

芸能部門

「宮民俗芸能連盟（島文楽保存会）」

森 宗隆

■ 役員紹介・加入団体一覧

■ 文化情報

「宮田村及び近村養蠶勸励略図」
『尾張名所図会』後編巻之五
尾西歴史民俗資料館蔵

2024.6

第64号

一宮市芸術文化協会

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

尾州の養蚕と製糸

海外との交易が開かれた幕末の開港期から昭和初期に至るまで、国内最大の輸出品は生糸でした。絹製品の原料となる生糸は、昆虫の蚕がつくる繭から繭糸を挽ぎだし、数本を合わせたものです。原料の繭は、農家が桑の木を栽培（栽桑）し、収穫した桑の葉を蚕に与えて飼育する、養蚕により生産されました。

この時代、生糸輸出量は飛躍的に増大し、明治四十二年（一九〇九）には、日本は世界最大の生糸輸出国となります。輸出量は昭和四年（一九二九）にピークを迎えました。そこに至るには、模範工場としてつくられた富岡製糸場に代表されるヨーロッパ製糸技術の導入のほか、在来製糸技術の改良、多条繰糸機の開発、蚕種（蚕の卵）製造・栽桑・蚕飼育に関する技術変化等多岐にわたる技術発展への取り組みがありました。

今回は、現在の一宮市域周辺の農村で展開し

た養蚕業について紹介するとともに、尾北地方を中心に群立し、市内貴船などで大規模に建築された製糸工場について写真で紹介します。

尾北地方の養蚕業の発展

尾張地方北部で、現在の市域北・東部から東に広がる旧葉栗・丹羽郡域では、江戸時代から、扇状地を中心に養蚕が行われたとみられます。江戸後期、丹羽郡や市域中・西部から南に広が

る中島郡では、綿糸・綿織物の原料となる棉や藍の栽培が盛んでしたが、海外産の原棉や綿糸染料の輸入により作付けは激減し、替わりに桑樹が植えられました。生糸をつくる製糸業の隆盛が、原料の繭をつくる養蚕業の発展を促し、蚕が食べる桑葉の需要増加が、桑園の拡大につながっていきました。

市域周辺の養蚕業は、丹羽・葉栗両郡を中心に大きく発展します。丹羽郡では、明治二十四年（一八九一）から大正十年（一九二一）の間、繭生産量は五倍以上に増え、桑園面積は約三倍になりました。特に繭生産量の増加につながった夏秋蚕の普及は、蚕の飼育時期が従来の五月頃（春蚕）だけではなく、他の時期（秋蚕等）にも広がったため、農家の収入の増加に結び付



▲図1「上郡桑林」 表紙図、図1とも江戸時代から続く葉栗郡での養蚕の様子を描く。表紙図は蚕の飼育、図1は桑園での桑摘み。
『尾張名所図会』後編巻之五



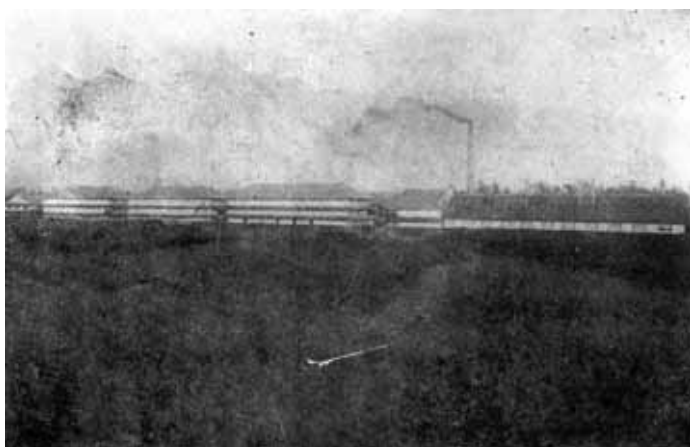
▲図2 丹羽郡に建てられたとみられる「養蚕室」 屋根には通気用の越屋根が付く。
『愛知県丹羽郡案内』（1910）



▲図3 北部中学校（貴船1丁目）付近にあった片倉製糸紡績株式会社愛知製糸所
昭和戦前期撮影 絵はがき（個人蔵）



▲図4 愛知製糸所（図3）内の繰糸工場 繭から繭糸を挽きだして生糸を生産する。糸質への高い評価を得た多条繰糸機が使用される。
昭和6～18年撮影 絵はがき（個人蔵）



▲図5 木曽川市民病院（木曽川町黒田字北野黒）付近にあった山十組木曽川製糸場 片倉・山十は、国内1・2位の規模を誇った長野県の製糸会社で、繭を集めるため県外へ進出していた。
『愛知県人士録』（1920）

養蚕・製糸の遺産

きました。
生糸輸出がピークを迎える頃には、丹羽郡では畑地の約七割が桑園となり、養蚕農家の割合は約七十五パーセントに達しました。農家の大半が養蚕を行っていたため、繭価格の高低が地域経済に多大な影響を及ぼしました。

その後、世界恐慌や合成繊維の普及、アメリカへの輸出途絶などにより、生糸や繭の生産量は激減しました。戦後の一時期、国内の

生糸生産量はピーク時の半分程まで回復しましたが、中国などの海外産生糸に価格面で太刀打ちができず、衰退をたどりしました。

二〇二二年の繭生産量はピーク時の約八分の一、生糸生産量は同じく約四分の一となり、養蚕・製糸業の規模は極めて小さくなりました。しかし、かつて生糸がもたらした外貨が日本の近代を支え、今の時代につながっているのです。

一宮市尾西歴史民俗資料館では、二〇二四年九月二十八日から十一月四日まで、特別展

「尾州の養蚕と製糸」を開催予定です。展覧会では残された資料を通して、尾北地方を中心に展開した養蚕業と製糸業について、桑苗生産・蚕種製造・蚕糸製造など、幅広く展開した関連産業とともに紹介します。是非、ご覧ください。
（二岸節子記念美術館 学芸員 岩井章真）

主要参考文献

井川克彦『近代日本製糸業と繭生産』（一九九八）
石井寛治『日本蚕糸業史再考』（二〇二三）
一宮市編『新編一宮市史』本文編下（一九七七）
梶川勇作『近代製糸業の地域的展開』（一九九二）
高木賢編著『日本の蚕糸のものがたり』（二〇一四）

生誕150年を迎えた島文楽

—そのヒストリーと活動の前途—

芸能部門 一宮民俗芸能連盟(島文楽保存会) 森 宗隆

慶応三年(一八六七)、葉栗郡

大毛村(一宮市大毛)の野々垣仙
右工門等が、現在の岐阜市芥見、

渡辺常助から人形を買い受けまし
た。しかし、若者たちが人形芝居

に夢中になり、農事を顧みないこ
とに親たちが立腹し、明治の初め

に葉栗郡島村(一宮市島村)へ譲
りました。譲り受けた島村在住の

森嘉助等の有志が、大阪文楽人形
遣いの豊松清十郎・加藤要等に指

導を受け、農閑期などを利用して
練習に励み、現在まで守り伝えて

きました。現在の人形は、明治初
年に岐阜座から購入したもの、名

古屋の朝比奈某から購入した「天
保二年」銘の人形など合わせて百



文楽人形

数十点になります。

島文楽保存会は、人形浄瑠璃芝
居の技術の伝承、文楽人形並びに

衣装、道具類等を将来にわたって
守っていくと現在、会員十五名

で活動しています。島文楽保存会
の特徴としては、他の保存会の多

くが、地元の神社の祭礼に深く関
わっているのに対し、地域の個人

有志たちによってはじめられ、伝
承されているところです。

公演活動の主なものは、毎年八
月に市民会館での「いちのみや民



末広児童クラブでの公演の様子

俗芸能のつどい」、三月の博物館
での「民俗芸能公演」です。その
ほか、地域の小中学校や公民館に
おいても公演を行っています。

また毎年八月の第一日曜日には
島村公民館で虫干しを行っています。

文楽倉庫に保管してある人形
衣装、道具等に風を当てたり、衣

装の補修や着付けなどを行います。
これら作業の一つ一つを人形等の

保存、知識や技術の伝承の機会と
捉えています。虫干しの当日には、

これらの作業風景の見学や人形の
操作の体験をしていただしていま

す。(11頁に今年の詳細あり)

文楽は一体の人形を「主遣い」
「左遣い」「足遣い」の三人で扱

います。三人の息が合わないと思
役である人形の心情が伝わりませ

ん。島村公民館で毎週練習を行っ
ていますが、非常に奥が深く一生

涯勉強です。こうした公演や見学
などを通じて、島文楽を広く地域

の方々に興味を持ってもらえるよ
う努めているところです。

今後、島文楽を継承していく上
で課題となるのが、人形等の本格

的な修理が必要な時期が迫ってき
ている点です。有形民俗文化財の

修理ですので、慎重に費用の確保

と要する日数を見積り、公演に支
障がないよう工程を組んで実施し
ていかなければなりません。

あわせて課題となるのが、保存
会員の高齢化と後継者不足です。

会員の減少は、公演できる演目が
限定的になり、人形浄瑠璃芝居の

魅力が半減してしまうのではない
かと危惧しているところです。人

形浄瑠璃芝居「文楽」に興味のあ
る方は、お気軽にお問い合わせく

ださい。まずは練習の見学から。

出典：岩田義允『島文楽—その由来と
携わった人びと—』(平成十一年)



いちのみや民俗芸能のつどい
『伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段』

令和6年度

一宮市芸術文化協会役員

役職名		氏名	備考(部門/団体名)
名誉会長	中野正康	一宮市長	
顧問	加藤昌義	茶道・華道部門/同派会	
会長	小島祥子	声楽・合唱部門/一宮音楽家協会	
副会長	不破皓	吹奏楽・管弦楽部門/尾西ウィンドオーケストラ	
	大島麻琴	洋画部門/一宮美術作家協会/洋画部	
	浅井英仁	吹奏楽・管弦楽部門/一宮市民吹奏楽団	
会計	不破務	舞踊部門/新舞踊あすか会	
監事	川合順夫	短歌部門/真清短歌会	
	武鹿千代	写真部門/一宮写真協会	

※左表は各部門選出の理事一覧表です。

(敬称略)

文学部					部
短歌部門	俳句部門	川柳部門	狂俳部門	詩部門	部門
足立絹子	光崎賢治	川越洪太郎	山本範子	清水義晴	部長
真清短歌会	一宮市民俳句教室	一宮川柳社	一宮狂俳壇連盟	一宮現代詩協会	氏名
					団体名

部														部
美術部				音楽部					芸能部		社会文化部			部門
日本画部門	洋画部門	デザイン・工芸・彫塑部門	書部門	写真部門	邦楽部門	謡曲部門	吟剣詩舞部門	声楽・合唱部門	器楽部門	吹奏楽・管弦楽部門	舞踊部門	芸能部門	茶道・華道部門	部長
高橋弘子	三輪修	林節子	村上史麗	夫馬勲	脇田美登里	森恒夫	高間加代子	柴山友佳	岩田法智華	今川卓一郎	花柳こま希久	木全修	脇田まつ子	氏名
一宮美術作家協会/日本画部	一宮美術作家協会/洋画部	一宮美術作家協会/デザイン・工芸部・彫塑部	公益社団法人中部日本書道会 一宮支部	一宮写真協会	一宮二曲協会	一宮謡曲同好会	濃尾岳風会 一宮支部	一宮音楽家協会	特定非営利活動法人旭雅楽会	一宮シティ合奏団	一宮舞踊協会	一宮民俗芸能連盟	一宮華道連盟	団体名

(敬称略)

加 入 団 体 一 覧

(令和6年5月現在)

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
			活 動 内 容
文 学 部	短 歌 部 門	真 清 短 歌 会	毎月第2日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
			毎月の短歌教室と年3回の短歌大会、年4回同人誌(蒼原)を発行し、楽しんでいます。
	俳 句 部 門	一 宮 市 民 俳 句 教 室	毎月第3日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
			初心者も交え俳句会を開き、年に一度秋の吟行会に参加しています。
		北 方 俳 句 会	毎月第1水曜日：午後1時～ 北方公民館
			自然に親しみ、心豊かに生きている喜びを詠っています。
		本 町 俳 句 会	毎週金曜日：午後1時～ 大志公民館
			四季の移ろいに自分の思いも入れ句に詠むことは心を豊かにします。
		き き よ う の 会	毎月第1・3水曜日：午後1時～ 大志公民館
			四季の自然や生活の中で気付いた事を五七五にまとめて句会を致しております。お気軽にどうぞ。
		千 秋 俳 句 ク ラ ブ	毎月第1木曜日：午後1時～ 千秋公民館
			当季雑詠6句を持ち寄り講師に指導いただき、11月には千秋文化展に出展し頑張っています。
		尾 西 牡 丹 句 会	毎月第3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
			毎月の句会では全員が披露し交流を深めています。毎年バスで吟行会と尾西俳句大会を実施しています。
		び さ い 南 俳 句 会	毎月第1金曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター
			当日は俳句会をします。会の終わりに久保武氏の講評があり、折々の吟行会に参加します。
		尾 西 仏 手 柑 俳 句 会	毎月第2日曜日：午後2時～ 応蓮寺
			大徳公民館で活動を始めました。第4日曜日午後2時から3時30分まで。ご参加お待ちしております。
	川 柳 部 門	一 宮 川 柳 社	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
	狂 俳 部 門	一 宮 狂 俳 壇 連 盟	毎月第2土曜日：午後1時～ 葉栗公民館
			一宮市に残る庶民文芸を伝承し、地域文化として普及するよう、言葉遊びを楽しんでいます。
	詩 部 門	一 宮 現 代 詩 協 会	事務局へお問合せください。
			詩が好きな仲間が集まりました。詩心がある方はもちろん、始めてみたい方、どなたでも大歓迎です。
美 術 部	日 本 画 部 門	一宮美術作家協会／日本画部	事務局へお問合せください。
			市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。
	洋 画 部 門	美 朋 会	毎月第2・4火曜日：午後2時～ 一宮スポーツ文化センター
			水墨画、日本画、水彩画等の展覧会を年1回とスケッチ旅行を年2回開催しています。
		一宮美術作家協会／洋画部	事務局へお問合せください。
			市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。
		尾 西 絵 画 ク ラ ブ	毎月第1・3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
			絵画をつうじて美術文化の発展と人との出会いを大切に、中央の公募展をめざして精進します。
		尾 西 作 家 協 会	事務局へお問合せください。
			絵画や工芸作品の発表を通して美術文化の発展に協力します。チャリティー展を開催します。
	水 絵 の 会	水 絵 の 会	毎月第1・3金曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター
			水彩画を楽しみ、会員皆で生きがいを個性を表現出来る様に描くことを学んでいます。

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
			活 動 内 容
美術部	洋画部門	楽しく描こう会	毎月第1土曜日・第3火曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター 本会も歩み始めて21年日。熱心な講師の指導、個性溢れる仲間作品から刺激を受け合い前向きに頑張っています。
		ブルシャンプルー	毎月第1・3木曜日：午前9時～ 朝日公民館 絵画を楽しみ、人と人との交流を大切に、年間の成果を発表する作品展を目標に活動しています。
		イエローオーカー	毎月第1・3土曜日：午前9時30分～ 朝日公民館 水彩・油彩・アクリル画を思い思いに描いて楽しく学んでいます。
		山ぶどうの会	毎月第2・4木曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター 趣味の一環で、水彩画・油絵など楽しく描き、年1回展覧会を開催しています。ご加入お待ちしております。
		土筆の会	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター 愛好者により、水彩画を学んで、地域の人との交流をして、成果を作品展にて発表します。
		あざみの会	毎月第1・3水曜日：午前9時～ 一宮スポーツ文化センター 絵画が好きな仲間と共に楽しく描き、年1回展覧会を開催します。
		びくーるアートサークル	毎月第2・4月曜日：午前9時30分～ 千秋公民館 初心者からベテランの方まで、楽しく水彩画を学んでいます。スケッチ旅行にも皆で出かけます。
		グループ創	毎月土曜日3回（変則）：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター 大島先生の指導のもと、各自自由課題で楽しんでいます。
		アクアの会	毎月第1・3火・水曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター 第2・4火曜日：午後1時～ 神山公民館 自然や四季の移ろいを感じながら、水彩画を楽しく学びます。年1回展覧会を開催します。
		みづゑの会	毎月第2・4火曜日：午後1時30分～ 一宮スポーツ文化センター 水彩画を現物をよく見て描く事に注意して、楽しく学んでいます。一緒にやりませんか。
		IBK美術作家	事務局へお問合せください。 絵画の発表を通して美術文化の発展に協力します。
	デザイン・工芸・彫塑部門	一宮美術作家協会/デザイン・工芸部・彫塑部	事務局へお問合せください。 市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。
		陶順会	毎週火・土曜日：午前9時～ 朝日西つどいの里陶芸室棟 陶芸を通じて文化の振興に寄与し技術の向上に努めるとともに、会員相互の新睦を図っています。
		尾張もめん伝承会	毎月第4日曜日：午前10時～ 一宮市民活動支援センター 尾州織物の原点となる綿から糸を紡ぎ染め織るという手仕事を伝承し、作品を発表しています。
		尾西面打会	毎月第1・3土曜日：午前8時30分～ 旧湊屋文右衛門邸 古面の能・狂言面等を手本に、角材から型紙を使い彫り、胡粉を塗り彩色し完成させています。
		一面会	毎月第2・4土曜日：午前9時～ アイブラザー宮 工芸「面打ち」教室に集う会員相互の親睦を深め、技術の向上を図ることを目的とします。
		アトリエ・Nayumi	事務局へお問合せください。 白木にアクリル絵具で描くトールペイントを皆で楽しんでいます。
	書部門	公益社団法人中部日本書道会一宮支部	事務局へお問合せください。 『書』を通じて『地域文化の発展向上』と『心の豊かさ』をめざすと共に、青少年の育成にも尽力してまいります。
		書道研究麗筆会	事務局へお問合せください。 書を通して文化の発展向上、豊かな心と美意識を具備する青少年の育成をめざし研鑽しています。
	写真部門	一宮写真協会	事務局へお問合せください。 写真を通して会員相互の親睦を深め、写真技術の向上と豊かな人生の糧となるように努めています。 (写団尾張、中日真澄クラブ、フォート・あい、写友ひまわり、翔の会・一宮)

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
			活 動 内 容
音 楽 部	邦 楽 部 門	一 宮 三 曲 協 会	事務局へお問合せください。
			三曲協会は絃方 9 社中尺八 5 社中で構成され、合同で定期演奏会を毎年11月23日に開催しています。 (松ヶ枝会、箏吾会、筑紫和邦会、箏富貴会、筑紫加豊会、統山会、遙吾会、慶山会、竹茂会、三山会)
		里 音 会	毎月第 2 ・ 4 土曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター
			箏・三絃・十七絃を練習し、演奏会が近くなると尺八とも合奏しながら楽しく励んでいます。
		す み れ 箏 の 会	月 4 回 講師宅
			箏のおけいこを通じて、音楽の知識を学び感性を養います。年に数回演奏会に出演。生徒募集中です。
		美 友 会	(随時) 講師宅
			邦楽を愛する仲間で活動する会です。楽しく箏曲を演奏しております。
		藤 乃 会	(随時) 講師宅
			古曲から新曲、あらゆるジャンルの曲を箏で合奏しています。新しい方との出会いをお待ちしています。
		一 宮 三 味 線 川 崎 会	毎週金曜日：午前 9 時30分～ 渡辺節子宅
			民謡三味線を弾き、日本音楽文化を楽しもう。
		脇 田 会	(随時) 脇田美登里宅
			箏や三絃や十七絃と尺八や洋楽とコラボ演奏し、演奏会やイベントに楽しく演奏出演しています。
	謡 曲 部 門	一 宮 謡 曲 同 好 会	事務局へお問合せください。
			現在 7 団体で年 2 回の発表会に向け、それぞれの団体ごとに稽古しています。 (梅謡会、相生会、竹石会、蘇水会、萩謡会、緑風会、丹謡会)
	吟 剣 詩 舞 部 門	濃 尾 岳 風 会 一 宮 支 部	市内 4 教場で活動しています。詳しくは事務局へお問合せください。
			年間行事として年 2 回の発表会(一吟会 1 月と 6 月)を通じて各教場の交流を含め練習成果の研鑽。
		吟 道 関 心 流 真 和 支 部	事務局へお問合せください。
			年に 4 回の発表会と県大会や全国大会のコンクール(競吟)を行っています。
		神 道 一 刀 流 剣 詩 舞 会	事務局へお問合せください。
			勇壮な剣舞、艶やかな詩舞の伝統芸能により歴史を学び、舞台や慰問等を楽しんでいます。
		柳 翠 剣 詩 舞 道 会	毎月第 1・2・3 金曜日：午後 1 時～ 小信中島公民館、第 4 金曜日：午後 1 時～尾西生涯学習センター他
			吟剣詩舞道は日本古来の伝統芸能です。「礼と節」をその心とし舞う事に喜びを感じ精進しています。
		山 螢 会	毎週月・水・金曜日 山螢会教室、尾西生涯学習センター 他
			吟詠を通じ、優れた詩人の心情・思想にふれ共感し仲間との絆を深めています。又発声により健康の保持に努めています。
	声 楽 ・ 合 唱 部 門	一 宮 音 楽 家 協 会	事務局へお問合せください。
			日頃は個人で研鑽している。サロンコンサート(5月中旬)定期演奏会(10月下旬～11月上旬)開催。
		一 宮 合 唱 協 会	事務局へお問合せください。
			コーラスを通じ歌いたい心のうたを皆様にお届けできたらと取り組んで練習を重ねています。 (一宮マザーズ・エコー、女声合唱団コール・フリーデ、コーラスたんぽぽ、北方コーラス歌音、一宮合唱団くさぶえ、ミモザコーラス、合唱塾、コーラス沙羅、尾西混声合唱団、男声カルテットG5、ローザ・ロッサ)
		一 宮 第 九 を う た う 会	毎週火曜日：午後 7 時～ 尾西生涯学習センター
			「第九」をはじめ各種の演奏会と練習を通じて地域文化の向上に貢献することを目的に活動中。

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
			活 動 内 容
音 楽 部	器 楽 部 門	琴 伝 流 大 正 琴 琴 稀 会	月 4 回 金曜日：午後 1 時～、土曜日：午後 1 時～ 尾西ふれあい広場 懐かしい童謡や流行歌など大正琴の音色を楽しみながら、芸能祭出演に向けて練習に励んでいます。
			月 2 回 土曜日：尾西生涯学習センター、月 2 回 水曜日：小信中島公民館 日本の言葉を大切にした長く歌い継がれる曲に心を癒され、行事を励みに合奏を楽しんでいます。
		安 美 & コ ン プ リ オ	事務局へお問合せください。 12月にはクリスマスコンサートでいろいろなジャンルの曲をいろいろな楽器で演奏します。
			毎月 1・15・28日：午後 6 時～、第 2・4 日曜日：午後 6 時～ 尾張猿田彦神社 一宮市をはじめ、東海三県で世界最古の音楽「雅楽」の演奏活動をしております。
		特 定 非 営 利 活 動 法 人 旭 雅 楽 会	
	吹 奏 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	一 宮 市 民 吹 奏 楽 団	毎週土曜日：午後 5 時～ 一宮スポーツ文化センター 市民の皆様にも親しまれる楽団を目指し、日々、練習や演奏活動に取り組んでいます。
		尾 西 ウ ィ ン ド オ ー ケ ス ト ラ	毎週日曜日：午後 5 時～ 尾西生涯学習センター 音楽を楽しみ、人との繋がりを深め、希望と夢のあふれるまちづくりに貢献し、人生に潤いを！
		一 宮 シ テ ィ 合 奏 団	月 2 回 土曜日：午後 5 時 30 分～ 日曜日：午後 1 時 15 分～ 一宮スポーツ文化センター リハーサルにより合奏能力を高め、年 1 回 11 月に尾西市民会館にて定期演奏会を行います。
		フ ァ ミ リ ー ア ン サ ン プ ル お と の は	毎週水曜日、土・日（月 2 回）：午前 9 時～ 木曽川体育館 子育て中のお母さんたちが中心になって活動しています。音楽を通して子どもたちに楽しい！の記憶を♪
芸 能 部	舞 踊 部 門	一 宮 舞 踊 協 会	越智バレエ団 KSP STUDIO（日・火曜日） 佐々バレエ団 本部（月・火・水・金・土曜日） 糸尾バレエ団 下沼町（日～土曜日） 日舞吉利枝会 一宮スポーツ文化センター（日曜日） 日舞こま希久会 中町（日・月・木曜日） 古典を楽しく稽古し、各会それぞれで発表会を開催しています。
		新 舞 踊 あ す か 会	事務局へお問合せください。 歌謡曲や古典舞踊、民謡の曲にあわせ日々稽古に励み、秋の尾西芸能祭に向けて頑張っています。
	芸 能 部 門	坂 東 流 百 の 会	毎月第 1・2（又は 3）木曜日：午前 9 時～ 尾西文化広場または講師宅 H27 年に 10 周年記念発表会。自分の踊りを仕上げる喜び、苦しみ仲間と共に。芸能祭を目指します。
		一 宮 民 俗 芸 能 連 盟	事務局へお問合せください。 現在 8 団体加入しており、長い歴史に培われた郷土の民俗芸能を保護するため奮闘しています。 （石刀祭山車保存会、真清伶人会、宮後住吉踊保存会、島文案保存会、機織唄保存会、馬場獅子屋形打囃子保存会、瀬部山車・臼台祭保存会、黒岩祇園祭保存会。）
社 会 文 化 部	茶 道 ・ 華 道 部 門	同 派 会	事務局へお問合せください。 7 月に納涼茶会、10 月に市民茶会、11 月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
		弥 生 会	事務局へお問合せください。 7 月に納涼茶会、10 月に市民茶会、11 月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
		茶 道 表 千 家	事務局へお問合せください。 7 月に納涼茶会、10 月に市民茶会、11 月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
		茶 道 裏 千 家	事務局へお問合せください。 7 月に納涼茶会、10 月に市民茶会、11 月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
		一 宮 華 道 連 盟	事務局へお問合せください。 華道展を開催する事によって、文化の発展の向上をより多くの方々に伝えて携わっていただきたいです。



「彩」

村上 史麗

加入団体の催し

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)50002

日時▼6月8日(土)・8月10日(土)

9月14日(土)・10月12日(土)

11月9日(土)・12月14日(土)

午後1時～

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により優秀作を記録に残します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

『能・狂言面の制作』

【問合せ先 一面会】

☎(71)2716

日時▼6月8日(土)・22日(土)

7月13日(土)・27日(土)

8月10日(土)・24日(土)

9月14日(土)・28日(土)

10月12日(土)・26日(土)

11月2日(土)・16日(土)

12月14日(土)・21日(土)

午前9時30分～正午

会場▼アイプラザ一宮 第5会議室

内容▼実地指導します。(初心者歓迎)

参加料▼月3,000円

申込み▼当日直接会場

『第23回こま希久会舞踊発表会』

【問合せ先 一宮舞踊協会こま希久会】

☎(45)5498

日時▼6月9日(日)

午前11時30分～午後4時

会場▼アイプラザ一宮

内容▼3年に一度、3歳から大人まで日頃の成果を発表します。

入場料▼無料

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(85)7074

日時▼6月9日(日)・8月18日(日)

9月8日(日)・10月13日(日)

12月8日(日) 午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼実作指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

『一宮市尾西俳句教室』

【問合せ先 尾西俳句会】

☎(68)2397

日時▼6月15日(土) 午後1時30分～

※7月以降はお問い合わせください。

会場▼尾西生涯学習センター

内容▼当季雑詠4句課題1句を尾西俳句教室委員が指導します。

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)0282

日時▼6月16日(日)・7月21日(日)

8月18日(日)・9月15日(日)

10月27日(日)・11月17日(日)

12月15日(日) 午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼当季雑詠2句を一宮市民俳句教室委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼開催日の前月末(必着)までにハガキにて、参加希望日・

当季雑詠2句(初参加の方は希望者のみ)・郵便番号・

住所・氏名(ふりがな)・電話番号・参加経験の有無を記

入の上、送付

(〒491-8501 本庁舎生涯学習課)

『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(44)7598

日時▼6月23日(日)・7月28日(日)

8月25日(日)・9月22日(日)

10月27日(日)・11月24日(日)

12月15日(日) 午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼自由吟および課題吟を一宮川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼初参加の方は開催日の3日
前までに電話で生涯学習課
(☎(85)7074)

『瀟聲會作詩教室』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時▼7月2日(火)・9月3日(火)

10月1日(火)・11月5日(火)

12月3日(火) 午前10時〜

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の作り方の指導をはじめ、持ち寄った創作詩の添削の検討を会員間で行います。

(初心者歓迎)

参加料▼年3,000円

申込み▼当日直接会場

『七夕まつり 狂俳大会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)5002

日時▼7月13日(土) 午後1時〜

会場▼葉栗公民館

内容▼事前投句の兼題句の中から互選により優秀作を表彰します。

参加料▼500円

『おりもの感謝祭一宮七夕まつり 第51回学生書道展・第30回選抜作品展』

【問合せ先 一宮書道連盟】

☎090(9937)0220

日時▼7月13日(土) 午後1時〜4時

14日(日) 午前10時〜午後4時

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼上位入賞作品、役員と指導者作品を展示します。

入場料▼無料

『七夕まつり 短歌大会』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(85)7074

日時▼7月14日(日) 午後1時〜

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼参加者による互選、批評会を行います。

参加料▼500円

『写真100人展』

【問合せ先 一宮写真協会】

☎(76)3523

日時▼7月19日(金)〜21日(日)

午前10時〜午後5時(21日は午後3時50分まで)

会場▼一宮スポーツ文化センター

入場料▼無料

『第17回記念 プルシアンブルー絵画展』

【問合せ先 プルシアンブルー】

☎090(2619)8010

日時▼7月24日(水)〜28日(日)

午前10時〜午後4時

(28日は午後3時まで)

会場▼玉堂記念木曽川図書館

内容▼講師の大島麻琴先生の指導のもと、水彩画や油絵などを展示します。

入場料▼無料

『納涼茶会』

【問合せ先 一宮茶道連盟】

☎090(2346)0313

日時▼7月27日(土)、28日(日)

午前10時〜午後3時

会場▼一宮市民会館ロビー

呈茶券▼700円(前売券 600円)

『一宮市民バンド 七夕まつり2024』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎080(5102)8611

日時▼7月28日(日)

午前10時30分〜午後3時

会場▼一宮市民会館ホール

内容▼「一宮市民吹奏楽団」「尾西ウインドオーケストラ」「ファミリアンサンパルおとのは」ほか、市内の団体が演奏会を行います。フィナーレには出演団体による合同演奏を行います。

入場料▼無料

『黒石祇園祭保存会 黒石祇園祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7074

日時▼8月3日(土) 午後6時〜

会場▼石刀神社(浅井町黒岩)

内容▼山車に550個の提灯を飾りつけ、お囃子と共に引き回します。

『島文楽保存会 虫干し』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7074

日時▼8月4日(日) 午前10時〜

会場▼島村公民館(島村字岩畑)

内容▼市指定有形民俗文化財の文楽人形の虫干しをします。人形の実演もあり。

『瀬部山車・臼台祭保存会臼台祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7074

日時▼8月17日(土) 午後6時〜

会場▼八剣社(瀬部字大門)

内容▼山車の上に提灯をかがけ回転させながら、笛や太鼓のお囃子に合わせて境内を練り歩きます。

この「いちのみやの芸術文化」は、今年度の編集委員7名により編集されています。

【編集委員】※順不同・敬称略

- ・浅井 英仁 ・木全 修
- ・小島 祥子 ・田中 石雲
- ・林 節子 ・光崎 賢治
- ・安江たつよ

いちのみや 民俗芸能のつどい

8/31(土)

正午～
一宮市民会館

入場
無料

【出演予定団体】

石刀祭山車保存会、真清伶人会、宮後住古踊保存会、
島文楽保存会、機織唄保存会、馬場獅子屋形打囃子
保存会、瀬部山車・臼台祭保存会



一宮民俗芸能連盟の加盟団体が市内各地に伝わる民俗芸能を上演します。

『いちのみや文芸2024』作品募集

市民の皆さまから文芸作品を募集します。お寄せいただいた作品を文芸集にします。ぜひご応募ください。詳しくは生涯学習課などで配布する募集要項をご確認ください。応募期限は令和6年6月28日(金)です。

1. 募集種目 ※一人3種目以内①随想・随筆②現代詩③漢詩④短歌⑤俳句⑥川柳⑦狂俳
2. 応募資格 市内在住・在勤・在学または一宮市芸術文化協会加入団体に所属している方
3. 応募方法 【郵送】〒491-8501(住所不要)一宮市芸術文化協会『いちのみや文芸』係(市教育委員会生涯学習課)までお送りください。【市ウェブサイト】市ウェブサイト(ID1061035)を確認の上、作品データを送信

合唱講習会

初心者向けに、正しい発声で楽しく合唱の基本から学びます。みんなで一緒に歌い、合唱を楽しみましょう♪

日時 8月21日～10月9日の水曜日
午後2時～4時(8回)

会場 木曽川文化会館

講師 加藤 智さん (伴奏: 釣 由美さん)

定員 40名

受講料 2,500円(一宮合唱祭(10月13日(日)開催)の参加料500円を含む)

申込み 6月下旬に一宮市ウェブサイト
[ID1059157]などで案内します。



秋の 市民美術教室の お知らせ

対象 市内在住・在勤・在学の方
会場 一宮スポーツ文化センター

6月下旬に、一宮市ウェブサイト
[ID1059141] などで各教室の詳細や
申し込み方法をお知らせいたします。



染色「初めての型染」

日時 9月24日～10月15日の火曜日
午後2時～4時(4回)

内容 型染の技法で日本手ぬぐいを染める初心者
向けの教室です。

講師 林 節子 さん
(一宮美術作家協会・中部染色作家協会)

定員 10名(抽選、初参加の方優先)

受講料 3,000円(教材費含む)

初心者からの版画とガラス絵教室

日時 9月10日～10月15日の火曜日
午後6時30分～8時30分(6回)

内容 版画とガラス絵を初歩から楽しく学びま
しょう。

講師 堀尾 一郎 さん
(一宮美術作家協会・二科会会員)

定員 30名(抽選、初参加の方優先)

受講料 3,800円(教材費含む)

気軽に楽しく水彩画

日時 10月3日～11月7日の木曜日
午後2時～4時(6回)

内容 身近な題材を使って水彩画の基本的な技法
を学びます。

講師 井上 雅夫 さん
(一宮美術作家協会・日本美術家連盟会員)

定員 20名(抽選、初参加の方優先)

受講料 4,000円(教材費含む)

【題 字】武 山 翠 屋
【編集・発行】一宮市芸術文化協会

【連絡先】一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-85-7074 / FAX 0586-73-9213